

**2010年度【2010年8月1日～2011年7月31日】
特定非営利活動法人まちづくり情報センターかながわ（アリスセンター）
事業報告書**

I 2010年度の活動をふりかえって

アリスセンターは、市民や市民がつくる組織（市民活動団体）のエンパワメント、市民活動団体が力を発揮できる社会環境づくりをめざし、活動を展開しています。2008年度からは、3年間の中期戦略で以下の4つの活動を柱に据え、事業を進めました。

- 行政システム（法・制度）への提案
- 社会への提案・情報発信
- 多様なセクター間のネットワーク・連携の推進
- 市民社会の基盤形成

2010年度は中期戦略における最終年でしたが、活動資金と体制が十分に整わず、年度当初に描いた事業計画を全て遂行することができませんでした。他方、これまで継続的してきた事業を見直し、新しい活動の展開を考える契機となる動きに着手しました。2011年度以降のアリスセンターは、財政的な制約を前提としつつも、NPO同士のネットワークを強化し、企業や行政などとも連携をとりながら、市民活動・NPOの実践や社会への提言を支援する活動に取り組んでいきたいと思えます。

【2010年度の主な活動について】

○行政システム（法・制度）への提案

- ・ 全ての国民に「居場所」と「出番」が確保され、市民や企業、NPOなど様々な主体が参画する社会を再構築するという「新しい公共」の考え方のもと、国は各省庁で関係する取組みを進め、内閣府では2010年度の補正予算で「新しい公共支援事業」が始まりました。この事業では国から各県に交付金が配分され、NPOなどの新しい公共の担い手に支援サービスを提供するとともに、NPOが行政等との協働によって取り組む活動を支援することになっています。2010年11月、全国の民間NPO支援組織の有志が意見をまとめ、内閣府に対し「新しい公共支援事業」が着実に成果を挙げるための提案を提出しました。この提案内容は日本NPOセンターのホームページから参照できます。アリスセンターも提案提出に参加しています。また、この事業の交付金が神奈川県に配分されることを受け、県内の民間の中間支援組織が集い、県の担当者も招き、事業の在り方に関する意見交換を行いました。

○社会への提案・情報発信

- ・ 2008年に立ちあげた「ソーシャル・ファイナンス研究会inかながわ」は、神奈川においてソーシャル・ファイナンスの仕組みをつくる機運を高めるための研究会として、金融機関や有識者等の協力を得て、社会的事業への資金循環の具体的な仕組みをつく

るための検討を行いました。2010年度は研究会の成果を発表する場として、公開フォーラムを開催しました。

- ・ 『たあとる通信』を発行し、会員や県内外の市民の方々に市民活動・NPOを取り巻く旬な話題を提供しました。2010年度の特集テーマは「シニアとNPO」「プロボノ」「NPOの情報開示と会計」です。32号では、シニアの地域参加の現状と課題をさぐるため、シニアとNPOに関するテーマを扱いました。33号では、プロボノに焦点を当て、プロボノする側、受け入れ側など様々な視点から、ボランティアの新しいカタチについて考えました。34号は、NPOの情報開示と会計をテーマに、NPOの情報開示やNPO法人会計基準の導入に対する考え方について現状を探りました。

○多様なセクター間のネットワーク・連携の推進

- ・ 多様な世代や主体の交流の場として「アリスカフェ」を2回開催しました。震災後に実施したカフェでは、「寄付をするということ」をタイトルに、寺田俊郎さん（上智大学教授／哲学対話プロジェクト会員）を講師に招き、寄付を考える上で参考になるような過去の哲学思想についてレクチャーを受けた後、参加者全員で寄付行為に対して感じることや考えることを哲学対話の型式で意見交換しました。
- ・ 県内企業とNPOとの事業連携等のコーディネートやマッチングの事業化などを進めるための実験的な活動を進めています。今年度は、不動産販売現場で地元のまちづくりNPOが「まちの魅力をアピールする」企画が実施され、アリスセンターは同企画の仲介・調整を行っています。

○市民社会の基盤形成

- ・ NPOの活動基盤強化につながる取り組みとして、県内の民間中間支援組織等と連携し、NPO法人会計基準に関する学習会を開催しました。また2010年度は、NPOの活動基盤強化につながる事業を企画検討し、神奈川県で事業提案を行いました。2011年度からは、さまざまな団体と連携しながら以下の事業に取り組みます。
 - 「NPOの労務環境改善支援プロジェクト」（企画実施団体）
 - 「NPO等次期リーダー育成支援事業」（協力団体として参加）

【2010年度の組織運営について】

- ・ 2010年度は、役員・スタッフが集い、アリスセンターの活動の方向性を考える戦略会議を継続的に開催しました（2011年12月～4月）。さまざまな活動展開の可能性を考えたなか、アリスセンターの強みや特徴を生かした「調査研究と政策提言」活動をこれまで以上に強化していくことを確認しました。今後は、活動推進のための体制強化が課題です。
- ・ 2011年2月、NPOスクエア内の事務所の契約面積を縮小しました。これによって家賃コストの節減努力を図っています。

Ⅱ 2010年度の事業一覧

中期戦略	事業・プロジェクト	定款における 事業項目	頁
行政システム (法・制度)への 提案	(1)神奈川県公共契約研究プロジェクト	1. 政策提言	4
	(2)高津区協働推進事業外部評価実施補助業務 (川崎市高津区から受託)	1. 政策提言 4. 調査研究	4
社会への提案・ 情報発信	(3)ソーシャル・ファイナンス研究会 (トラスト60財団より助成)	1. 政策提言 4. 調査研究	4
	(4)『たあとる通信』の発行	6. 資料等の発行	5
多様なセクター 間のネットワー ク・連携の推進	(5)「エコシティたかつ」推進事業 (川崎市高津区から受託)	9. その他 連携・ネットワー ク事業など	6
	(6)NPO・企業・行政等の多様な主体の連携 に向けた取組み (アリスカフェ等)	9. その他 連携・ネットワー ク事業など	6
	(7)NPOスクエアを拠点とした協働	9. その他 連携・ネットワー ク事業など	7
市民社会の基盤 形成	(8)NPO支援基盤の強化に向けた取組み	1. 政策提言 4. 調査研究	8
	(9)かながわNPO研究会事務局	9. その他 連携・ネットワー ク事業など	8
	(10)市民活動相談、講師等の派遣	2. 相談・コンサルテ ィング 7. 講師等の派遣	8
	(11)ホームページ運営と 『らびっとにゅうず』の配信	3. 情報収集と提供	9
	(12)学生インターン、企業からの出向者受入	9. その他 連携・ネットワー ク事業など	9

Ⅲ 各事業の内容

行政システム（法・制度）への提案

（１）神奈川公共契約研究プロジェクト

神奈川県内の NPO・中間支援組織、明治大学非営利・公共経営研究所と連携し、「神奈川公共契約研究プロジェクト（仮称）」を立ち上げ、委託契約・指定管理者制度等公共契約をめぐる課題を明らかにし、政策提案に結び付ける活動を進めることにしていましたが、推進体制が整わずプロジェクトは立ち上げられませんでした。

NPO の契約をめぐる課題は引き続き重要なテーマであると認識しています。プロジェクトの主體的な立ち上げは財政的な目途が立たず難しいですが、課題認識をともにする団体・有識者との情報交換を今後も積極的に行っていきます。

（２）高津区協働推進事業外部評価実施補助業務（川崎市高津区より受託）

2009 年度に継続し、高津区が設置した「外部評価委員会」による協働推進事業の評価作業を支援する業務を受託し、事業評価の補助業務を行いました。2010 年度（平成 22 年度）の高津区では 11 事業に対する外部評価が行われ、評価結果と区の対応方針がホームページで公開されています。

社会への提案・情報発信

（３）ソーシャル・ファイナンス研究会（トラスト60財団より助成）

アリスセンターは、神奈川におけるソーシャル・ファイナンスの仕組みづくりに向けて、2008 年度にソーシャル・ファイナンス研究会を立ち上げ、金融機関、研究者、中間支援機関が一同に会し、継続的に検討を重ねてきました。2010 度は、研究会での成果を県内の NPO、金融・行政関係の方々に広く普及し、今後の神奈川におけるソーシャル・ファイナンスの仕組みを具体化させるためのネットワーク形成を目的とした公開フォーラムを開催し、情報発信を行いました。

【ソーシャル・ファイナンス・フォーラムinかながわの概要】

日時：2010 年 10 月 9 日（土）14 時～17 時

会場：横浜開港記念館 7 号室

内容：

第 1 部 基調講演：きょうと NPO センター 深尾昌峰氏

研究成果報告：アリスセンター理事 水谷衣里

第 2 部 パネルディスカッション

NPO 法人五つのパン 岩永敏朗氏 / 中央労働金庫 梅村敏幸氏

女性・市民コミュニティバンク 向田映子氏 / きょうと NPO センター 深尾昌峰氏

アリスセンター 土谷和之、水谷衣里



フォーラムの様子



パネルディスカッション

(4) 『たあとる通信』の発行

2010 年度に発行した『たあとる通信』のテーマは以下のとおりです。会員や県内外の市民の方々に向け、アリスセンターの視点で捉えた市民活動・NPO を取り巻く旬な話題を提供しました。

号数	発行年月	特集テーマ	主なコンテンツ
32号	2010年12月	シニアとNPO どうすれば良い関係が作れるのか？～シニアの地域参加の現状と課題	《座談会》シニアとNPO～シニアの地域参加 その現状と課題 《寄稿》高年齢者の社会貢献活動～参加要因分析からの探索的見解～小野晶子さん（労働政策研究・研修機構） 《インタビュー》インターンシップ Befor → After 《報告》シニアとNPOのマッチング調査結果報告 ほか
33号	2011年3月	プロボノ～ボランティアのもう1つのカタチ	《寄稿》NPOのこれからの十年における「プロボノ」の意義と活用法 嵯峨生馬さん（NPO法人サービスグラント） 《座談会》なぜ今プロボノなのか？ 《インタビュー》プロボノ受け入れ団体「自然食品の店 菜月」 ほか
34号	2011年7月	NPOの情報開示と会計～団体の「本気度」を見せよう！	《寄稿》「NPO法人会計基準」策定の背景とその特徴 福田哲也さん（関東学院大学准教授） 《緊急アンケート》「NPO法人会計基準」の導入に関するアンケート報告 《インタビュー》NPO法人の会計業務とNPO会計基準「NPO法人ら いぶらいぶ」 ほか

多様なセクター間のネットワーク・連携の推進

(5) 「エコシティたかつ」推進事業（川崎市高津区より受託）

川崎市高津区では、自然の賑わいとともにある持続可能な循環型都市づくりをめざし、市民協働でエコシティたかつ推進事業を実施しています。アリスセンターは同事業の事務局支援業務を担い、12の短期プロジェクト推進のサポートを行い、市民や行政などによる具体的な活動が活発化させることをめざしました。この事業への関わりは、2008年度に計画策定支援を行って以来3年目になりますが、2010年度を最後に事業への関わりは一旦終了します。

(6) NPO・企業・行政等の多様な主体の連携に向けた取組み

◆アリスカフェの開催

昨年度から新しい企画として「アリスカフェ」を立ち上げました。市民活動を取り巻く話題や実験的なテーマも取り上げ、軽食をとりながらゲストスピーカーを交えて懇談する会です。2010年度は2回開催しました。参加者は、市民活動に関心のある方や関わっている方、行政や企業の方などさまざま、カフェが多様な世代や主体の交流の場となっています。



第5回アリスカフェ
「ボーダレス時代の民が担う公共」



第6回アリスカフェ
「寄付をするということ」

【アリスカフェ開催実績】

【第5回】

日時	2010年10月28日(木) 18:30~20:30
場所	横浜情報文化センター 小会議室
内容	「ボーダレス時代の「民」が担う公共」 社会的企業を中心に、寿町のウラ話、グラミン銀行のユヌス氏にまつわる話、多様化する公共の担い手に関する質疑応答など。 講師：原田 勝広さん（明治学院大学教授／日経新聞編集委員） オーナー：中島智人（アリスセンター理事）
参加者	12名

【第6回】

日時	2011年4月27日(水) 19:00~21:00
場所	横浜開港記念館 第4会議室
内容	「寄付をするということ～哲学対話の手法を用いて考える」 寄付を考える上で参考になるような過去の哲学思想の紹介、参加者の方々が寄付に対して感じることを考えること。 講師：寺田 俊郎さん（上智大学教授／哲学対話プロジェクト会員） オーナー：佐谷 和江
参加者	14名

◆NPOと企業の連携に向けた取組み

県内企業とNPOとの事業連携等のコーディネートやマッチングの事業化などを進めるための実験的な活動を進めました。2010年度は、民間企業が販売するマンションのモデルルーム内で、地元のNPO《特定非営利活動法人アイラブつづき》が地域生活情報を提供する企画「地域の達人による港北ニュータウンセミナー」が実施され、アリスセンターは同企画の仲介・調整を行っています。



販売センタースタッフ向け研修会の様子

(7) NPOスクエアを拠点とした協働

アリスセンターが入居するNPOスクエアでは、毎年、横浜ワールドポーターズ6階に入居する企業および(株)横浜インポートマートと共催でバリアフリーフェアを開催しています。2010年度は、10月2日、3日に「バリアフリーフェア2010」を開催しました。

【バリアフリーフェア2010の概要】

日時：2010年10月2日(土) 10:30-19:00 10月3日(日) 10:30-17:00

場所：横浜ワールドポーターズ

内容：ユニバーサルデザインファッションショー、ユニバーサルファッショントークライブ、バリアフリー・マーケットほか

主催：(株)横浜インポートマート、バリアフリーフェア2010実行委員会(NPOスクエア連絡会)・(株)日本コミュニティ開発・(株)かいかや・日本ミニゴルフ協会)

市民社会の基盤形成

(8) NPO支援基盤の強化に向けた取組み

2010年度は、NPOの活動基盤強化につながる事業を企画検討し、「新しい公共支援事業」として神奈川県で事業提案を行いました。2011年度からは、さまざまな団体と連携しながら以下の事業活動に取り組めます。

「NPOの労務環境改善支援プロジェクト」（アリスセンターは企画実施団体）

「NPO等次期リーダー育成支援事業」（アリスセンターは協力団体として参加）

(9) かながわNPO研究会事務局

2010年12月20日、かながわ県民活動サポートセンターにおいて、「NPOの会計基準を知る学習会」を開催しました。NPO法人関係者、税理士等専門家、NPO支援センター関係者等59名の参加を得て、NPO法人会計基準が策定された経緯とその特徴、NPO法人会計基準の基本的な考え方と主なポイントについて学び、活発な質疑応答が交わされました。

【学習会等開催実績】

テーマ：NPOの会計基準を知る

講師：福田 哲也さん

（関東学院大学経済学部准教授、NPO会計基準策定プロジェクト専門委員）

日時：2010年12月20日（月） 18：30～20：40

場所：かながわ県民活動サポートセンター 301会議室

参加者：59名

(10) 市民活動相談・講師等の派遣

市民団体、行政、企業などから依頼される多様なテーマに沿って、理事・スタッフ・アドバイザーを講師や委員として派遣しました。

【講師派遣】

- ・ かながわ交際交流財団：かながわ非営利組織セミナー（2011年2月／藤枝）
- ・ 社会的企業育成支援コンソーシアム起業支援委員会（2010年度／中島）
- ・ 小平市市民活動パワーアップ講座（2011年7月／土谷）

【委員会・審査会への派遣】

- ・ かながわコミュニティカレッジ運営委員会（2010年度、2011年度／藤枝）
- ・ 都築区区民活動補助検討会議委員会（2011年6月／廣井）
- ・ 全労済地域貢献助成事業審査委員会（2010年6月／藤枝）
- ・ 神奈川県新しい公共支援事業運営委員会（2011年度／藤枝）
- ・ 神奈川県シルバー人材センター連合会シニア活力元気ネット連絡会（2011年7月／藤枝）

【視察受入】

- ・ 韓国保健福祉部（2010年11月）

(11) ホームページ運営と『らびっとにゅうず』の配信

主に神奈川県域から随時寄せられる市民活動に関する情報や、アリスセンターの活動・運営状況を発信するホームページの運営を行いました。また、会員および登録者に向けてメールマガジン『らびっとにゅうず』を配信しました。

(12) 学生インターン、企業からの出向者の受入

2010年8月に産業能率大学から学生インターンの受入れを行いました。今年度は企業からの出向者の受入れは行っていません。

総会・理事会 開催記録

1. 総会 2010年9月17日(金) 19:00~20:30 万国橋会議センター403 会議室

- (議題) 2009年度事業報告書承認について
 2009年度収支計算書承認について
 2010年度事業計画について
 2010年度収支予算について
 定款の変更について
 役員を選任について

2. 理事会

	開催日	主な議題
第1回	2010年10月27日(水)	理事長および副理事長の選出、事務所縮小、事務局体制について
第2回	2010年11月24日(水)	イベントの広報・報告の方法、アリスカフェ企画、たあとる通信次号企画について
第3回	2010年12月21日(水)	理事会と事務局の役割と連携、新規事業(新しい公共支援事業、かながわコミュニティカレッジ講座)について
第4回	2011年1月25日(火)	新規事業(新しい公共支援事業)、活動状況報告(プロジェクトの進捗状況)について
第5回	2011年2月22日(火)	新規事業(新しい公共支援事業)、中期戦略策定会議の報告について
第6回	2011年3月29日(火)	事務局体制、活動計画について
第7回	2011年4月26日(火)	今後のたあとる通信発行体制、中期戦略会議の報告について
第8回	2011年5月24日(火)	事務局体制、新規案件、活動状況報告(プロジェクトの進捗状況)、総会準備について
第9回	2011年6月21日(火)	新規事業および実施中事業について
第10回	2011年7月12日(火)	次期役員体制について、新規事業について
第11回	2011年8月11日(木)	総会議案、総会の進め方について
第12回	2011年8月29日(月)	総会議案について